

2026年4月30日

2026年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第1回 4月下旬分)

香川県水産試験場 環境・資源研究課(植田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年及び平年を上回った。

前年	2025年4月24日	(7点の平均)	3.3 個/m ³
今回	2026年4月21日	(7点の平均)	18.9 個/m ³
		※4月下旬の平年値	14.2 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は前年及び平年を上回った。

前年	2025年4月24日	(7点の平均)	0.2 尾/m ³
今回	2026年4月21日	(7点の平均)	2.9 尾/m ³
		※4月下旬の平年値	0.6 尾/m ³

○プランクトン調査

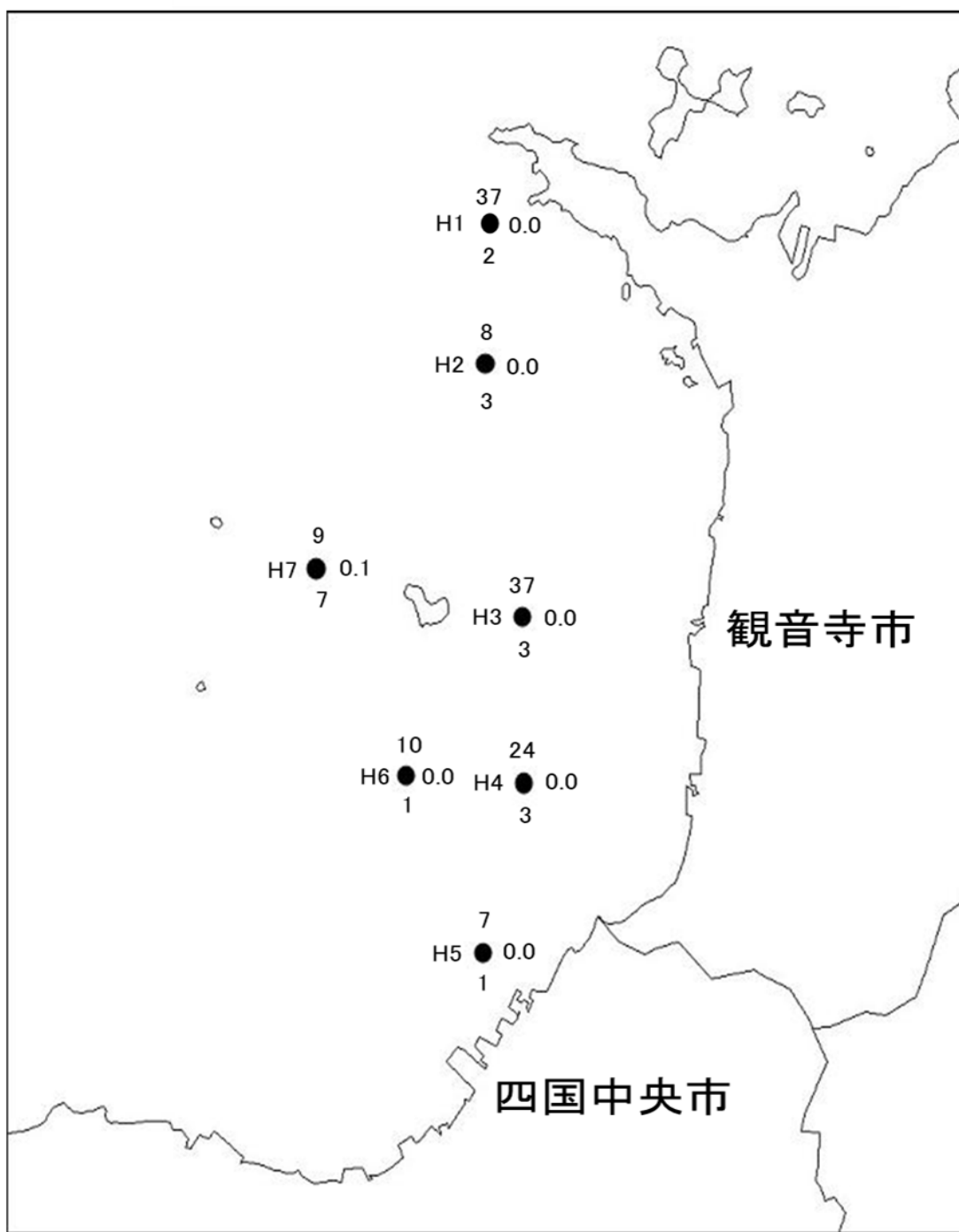
プランクトンは、夜光虫(ノクチルカ)が優占した。
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は前年及び平年を下回った。

○カブトクラゲ調査

カタクチイワシの餌料競合種であるカブトクラゲ量は、平年を下回った。

次回の調査は5月7日(木)の浅海定線調査に合わせて実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2026/4/21)



●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を,
下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m³)を,
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

21 ← 卵密度
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類密度
5 ← 仔魚密度

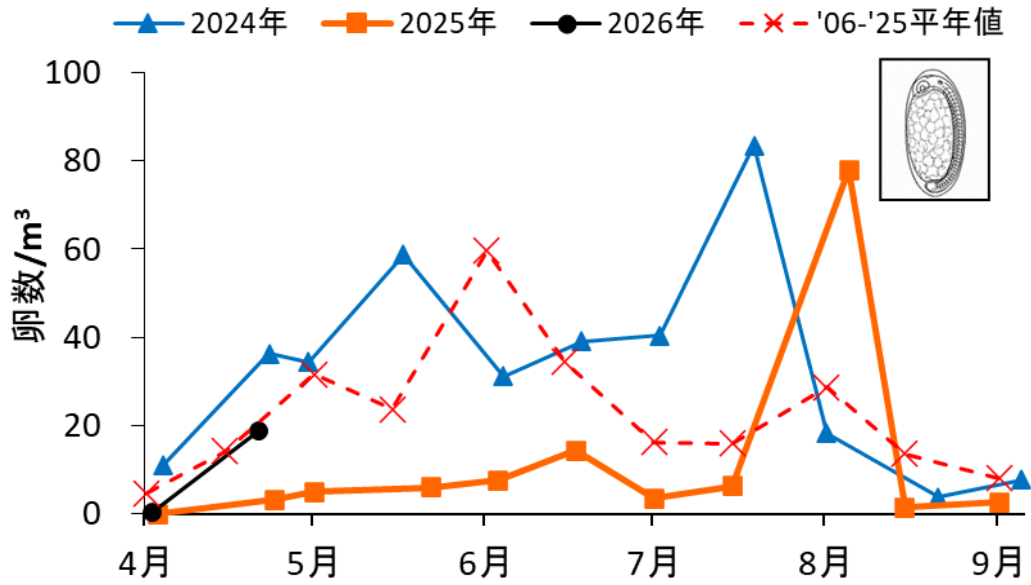


図. カタクチイワシ卵数の推移

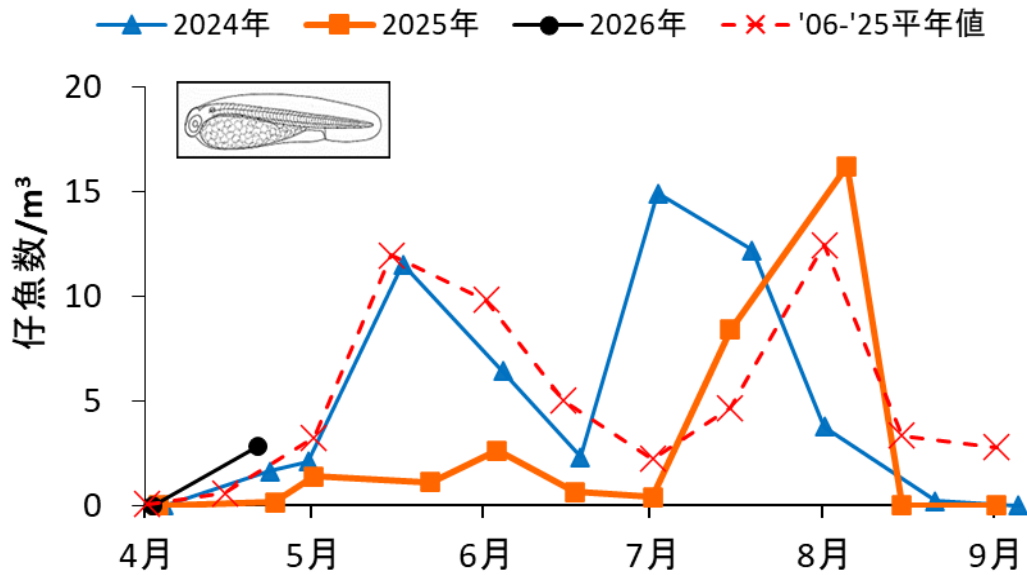


図. カタクチイワシ仔魚数の推移

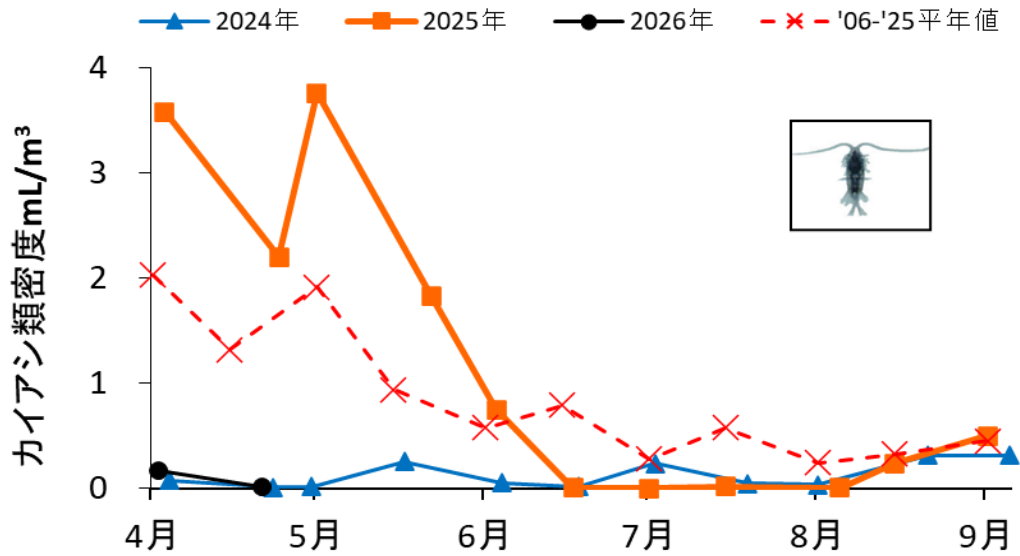


図. カイアシ類密度の推移

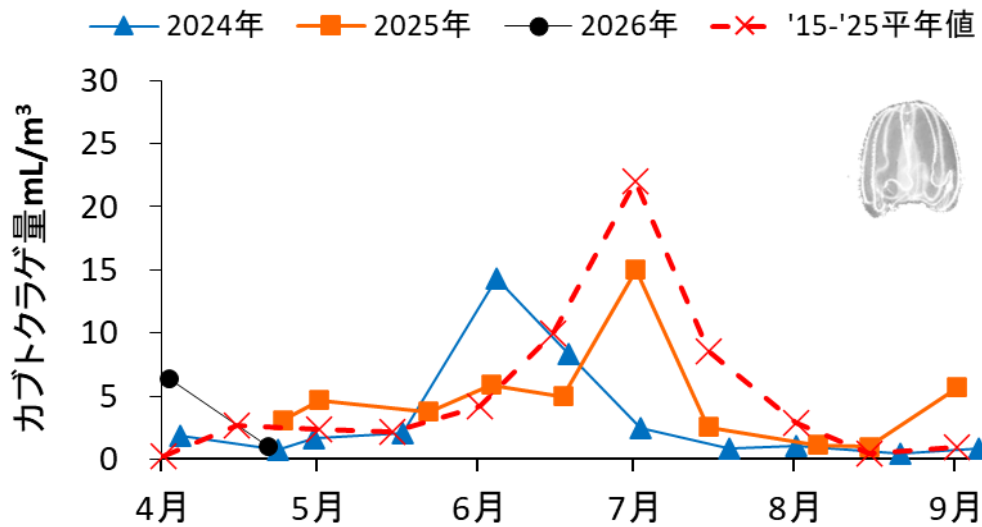


図. カブトクラゲ量の推移

※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。
 ※カブトクラゲは、丸特Bネットによる全定点の平均採集量。
 ※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任を負いません。

2026 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(1回目)

調査日: 2026/4/21

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	15.8	94	0	3	4	0	0
H2	20	15.8	22	0	1	9	0	0
H3	20	15.8	99	0	0	9	0	0
H4	20	15.8	65	0	3	8	0	2
H5	20	15.8	20	0	5	3	0	1
H6	20	15.8	34	0	2	2	0	1
H7	20	15.8	28	0	6	22	0	0
平均		15.8	52	0	3	8	0	1

※卵稚仔数は採集数を示す。

※表層水温は午前9時水温を示す。